マスターズ甲子園本大会
2021ー2023シリーズ代表ＯＢ試合規則

公認野球規則・アマチュア野球内規・高校野球特別規則、ならびにマスターズ甲子園代表ＯＢ試合規則による。
ただし、コールドゲームは適用しない。

①出場選手と出場チームについて

１）出場選手は元高校硬式野球部関係者（高校野球部部員、監督、部長、マネージャーのＯＢ・ＯＧ）であること。ＯＢ・ＯＧとは高校野球部に一時期でも在籍したことのある者とする。

２）出場選手は大学野球（準硬式を含む）、社会人野球（企業チーム・クラブチーム）の現役選手、ならびに現役のプロ野球関係者ではないこと。女性選手の場合も同様とする。
これらのＯＢ・ＯＧであるか、以下の場合については出場を認める。
①軟式野球の現役選手である場合。
②大学野球、社会人野球の関係者（監督・部長・コーチ・マネージャー）である場合。
ただし選手兼任の場合は不可。
③大学野球、社会人野球の関係者で退部した場合には、その次年度からの出場を可とする。

３）代表ＯＢ試合に出場するチームは、主催団体である全国高校野球ＯＢクラブ連合に加盟し、マスターズ甲子園実行委員会が承認した地方予選リーグ参加ＯＢ校に限る。ただし選手個人については、地方予選リーグと甲子園大会の出場メンバーが異なってもよい。

４）地方予選リーグから１チームを選出する。代表チームの選出方法は各リーグの判断に委ねる（複数ＯＢ校による合同チーム、個人選抜チーム、等々）。ただし、各リーグの同じ単独ＯＢ校による本大会連続出場の可否は各県に委ねる。

５）代表チームの選手数は最低２９名でベンチ登録されることとする。その内訳は、３４歳以下が１４名、３５歳以上は１５名で構成される。年齢については、開催年の４月１日時点を基準とする。ただし、３４歳以下の選手の代わりに３５歳以上の選手をもって充てることができる。その選手は４回以降も出場可能とする。

６）ベンチ登録者は、監督・部長・代表者・マネージャーを含めて最大５０名までとし、登録者は全員が試合に出場することができる。

７）現役の高校野球指導者・関係者（監督・責任教師など）が登録する場合には、「都道府県高野連届出書」に必要事項を個別に記入し、その地方の都道府県高等学校野球連盟に許可を事前に得ること。
（日本学生野球憲章・アマチュア問答集に基づく）

②投手規定

１）３４歳以下のイニングでは２７歳以上とする。

２）全て２イニング以内の登板とする（６アウトではない）。
なお、３４歳以下のチーム及び３５歳以上のチームの両方で登板する場合でも通算２イニングとする。

③試合方法・時間

１）３回までを３４歳以下のチームで行ない、４回以降を３５歳以上のチームで行なう。４回以降は新たに１番打者から試合を行なう。ただし２回表終了時に試合開始後３０分を経過している場合には、３回から３５歳以上のチームで、新たに１番打者から試合を行なう。

２）９イニング、もしくは１時間３０分打ち切りとする（球場使用の時間制限のため）。延長戦は行わない。

３）各チームは、３４歳以下のチームと３５歳以上のチームのそれぞれスターティングメンバーシートを３枚ずつ計６枚、指定された集合時に係の者に提出すること。スターティングメンバーシートはマスターズ甲子園専用のものを使用し事前に配布する。

④ＤＨ制

３４歳以下、３５歳以上のそれぞれについて、ＤＨ制の採用を各チームが決定することができる。

⑤試合球

マスターズ甲子園実行委員会公認硬式試合球を使用する。

⑥バット

マスターズ甲子園実行委員会が承認する硬式用金属バットを使用する。
木製バットの使用も可。ただし、マスターズ甲子園実行委員会が承認したものに限る。

マスターズ甲子園本大会
2021ー2023シリーズ代表ＯＢ試合規則

⑦用具・ユニフォーム・その他

１）硬式野球用具を使用すること。用具は全てチームで持参すること。
２）チームで統一された上下野球ユニフォーム（できるかぎり母校ユニフォームと同様のもの）を着用、着帽すること。ただし、世代によるユニフォームの違いは問わない（例：統廃合などで学校名が変更になった高校など）。ロングパンツの着用は禁止とし、ストッキングを見せるように着用すること。なお、背番号は試合出場メンバー全員が、ベースコーチも含め着用すること。背番号の重複は認めない。
３）金属スパイクの使用は認める。スパイクの表面は黒・白の一色とする。
ただし、スタンド内や室内練習場、開会式・閉会式ではアップシューズを使用すること。
４）試合中、打者・走者及びベースコーチは必ず両耳ヘルメットを着用すること。
５）リストバンドとサングラスの着用は禁止する。ただし、けが等の身体上の理由により着用が必要な場合には、事前に実行委員会に申し出を行ない許可を得ること。

⑧代表ＯＢ試合出場チーム監督者会議について

大会前日に、試合進行と球場使用についての確認と諸連絡に関する監督者会議を行うので、各チームの監督（もしくは代理代表者）はその会議に必ず出席すること。

第20回記念全国高校野球ＯＢトーナメント日本一決定戦　特別規則

大会２日目最終試合「OBトーナメント日本一決定戦」では、上記規則に加えて以下特別規則が適用される。

◆試合方法・時間について

１）９イニング制、もしくは２時間（１２０分）の時間制とし、時間を優先し延長戦は行なわない。
例１）１時間３０分（９０分）で９イニングが終わり同点の場合は、延長戦は行なわず、両校優勝とする。
２）４回まで（又は５０分を越えて新しいイニングに入らない）を３４歳以下のチームで行ない、５回から９回までを３５歳以上のチームで行なう。５回以降は新たに１番打者から試合を行なう。女性選手については、年齢に関わらず３５歳以上のチームで登録する。
例１）３回表の攻撃中に５０分が経過した場合は３回裏の攻撃まで３４歳以下のチームで試合を行ない、４回から３５歳以上のチームで試合を行なう。
例２）４回裏の攻撃が終わって５０分が経過しない場合であっても５回からは３５歳以上のチームで試合を行なう（５０分以降の使用時間は３５歳以上の時間を使用するもので合計２時間（１２０分）迄である）。
３）１時間４０分（１００分）を越えて新しいイニングに入らない。規定の最終イニングを終えて試合終了となった時点で同点の場合は、両校優勝とする。また、２時間経過時点で試合が終了していない場合は、その時点で試合を打ち切り、成立している１つ前のイニングまでのスコアで勝敗を決める。
例１）８回表１アウト時点で２時間経過→イニングが表・裏とも成立している７回裏終了時点の得点に基づき勝敗を決める。
４）投手起用については②投手規定２）に加え、２イニング内での再登板は認めないものとする。

◆その他

１）審判員の裁定に異議を唱えることはできない。ただし審判員の裁定が規則の適用を誤って下された疑いがある場合には監督もしくは主将が規則に基づく正しい裁定にするように要請することができる。
２）上記に記載していない事項が発生した場合にはマスターズ甲子園実行委員会が判断するものとする。